

令和6年度 事務事業評価シート（1）

[令和5年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	全国障害者スポーツ大会・堺市予選大会			事業番号	011-124
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—		
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—
		有・無	ゴール	ゴール(10)人や国の不平等をなくそう	ターゲット	10.2	
		有	取組	障害者児及びその家族に対する支援			
		有・無	指標名	—			
		無	現状値	—	目標値	—	
2	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、堺市スポーツ推進プラン					
3	事業開始年度	平成 18 年度		点検対象年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律 (略称:障害者総合支援法)					

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	身体障害者手帳、療育手帳、精神保健福祉手帳所持者 療育手帳取得の対象に準ずる者 (知的障害者 (児) 社会福祉施設、特別支援学校、特別支援学級の在籍者) 精神障害者保健福祉手帳の取得の対象に準ずる者 (自立支援医療 (精神通院) 受給者証の交付を受けた者)			対象数	単位
					約65,000	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	障害者が本大会に参加することにより、スポーツに親しみ、スポーツの楽しさを体験しながら競技力を向上させる。また、市民の障害者に対する理解と認識を深め、もって障害者の自立と社会参加の促進に寄与する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段) ※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	<p>○第18回堺市障害者スポーツ大会 開催期間 令和5年4月6日～9月23日 参加者数 368人 ※開催競技 (個人競技) 陸上、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ポッチャ (団体競技) バレーボール、バスケットボール、ソフトボール (オープン団体競技) ポッチャ、ふうせんバレーボール</p> <p>○特別全国障害者スポーツ大会「燃ゆる感動かごしま大会」 開催期間 令和5年10月28日～30日 派遣期間 令和5年10月27日～31日 ※参加競技 陸上、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、ボウリング、ポッチャ、バスケットボール</p>				
		※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載				
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)					
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	令和4年度	令和5年度	目標	目標
				令和6年度	令和7年度	点検対象年度	
						令和6年度	令和7年度
	堺市予選大会参加人数	人	目標値	500	525	550	575
		実績値	316	368			
		達成率	63%	70%			
当該指標を選定した理由		堺市予選大会への参加者数増が、障害者のスポーツ参加意欲増を表すといえるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		仕様書上の目標値					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績	令和4年度	令和5年度	目標	
				令和6年度	点検対象年度		
						令和6年度	
	障害者スポーツ練習会・記録会の開催数	競技	目標値	7	7	7	
		実績値	12	12			
		達成率	171%	171%			
当該指標を選定した理由		障害者スポーツ練習会、記録会への参加者数が増えることで、堺市予選大会への出場選手も増えると考えられるため。					
目標値の設定根拠・算出方法		仕様書に定める競技数を記載					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	全国障害者スポーツ大会・堺市予選大会	事業番号	011-124
-------	--------------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和3年度	令和4年度	令和5年度		令和6年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	28	289	374	316	346
13 財源内訳	国支出金		0		0
	府支出金		0		0
	市債		0		0
	その他 ()		0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0
	一般財源	28	289	374	316
14 人件費 (b)	2,460	2,460	2,430	2,430	2,430
15 年間経費(c)=(a)+(b)	2,488	2,749	2,804	2,746	2,776

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源	
					R5	R6			
16 事業費内訳	医師報酬	R5 決算	168	168		R5	決算		
		R6 予算	168	168		R6	予算		
	普通旅費(枠)	R5 決算	13	13		R5	決算		
		R6 予算	13	13		R6	予算		
	消耗品費(枠)	R5 決算	29	29		R5	決算		
		R6 予算	30	30		R6	予算		
	その他使用料及び賃借料(枠)	R5 決算	1	1		R5	決算		
		R6 予算	1	1		R6	予算		
	全国障害者スポーツ大会派遣負担金(枠)	R5 決算	105	105		R5	決算		
		R6 予算	134	134		R6	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和4年度	令和5年度
		① 堺市予選大会参加人数	人
② 上記①にかかる年間経費	千円	112	168
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	354	457

備考 (算出についての説明等) 当該事業における堺市予選大会への医師派遣報酬

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和5年度の堺市障害者スポーツ大会の参加人数は、令和4年度に比べ52人増加し368人となった。新型コロナウイルス感染症の影響が落ち着いたことや、堺市立健康福祉プラザスポーツセンターにおいて障害者スポーツ練習会・記録会を精力的に実施したことが参加人数増につながったといえる。
 なお、令和4年度は雨天中止となった競技があったが、令和5年度は全ての競技を実施したことから、医師報酬にかかる経費が上がり単位当たり経費は増加した。

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19 障害者がスポーツに親しみ、スポーツの楽しさを体験しながら競技力を向上、またスポーツを通して社会参加意欲を喚起させることを目的に実施しており、令和5年度は堺市障害者スポーツ大会について全ての競技を実施することができ、368人の参加者を得ることができた。本事業の実施により、多くの障害者がスポーツ活動を通じて生きがいを感じ、新型コロナウイルス感染症の影響により停滞していた障害者の社会参加の促進につながったといえる。このことから、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与している。